

サーキュラーエコノミー時代のビジネスエコシステムと 「ルール形成」にフォーカスした知財戦略

市川芳明

株式会社日立製作所 知的財産本部

国際標準化推進室 主管技師長

(多摩大学客員教授)

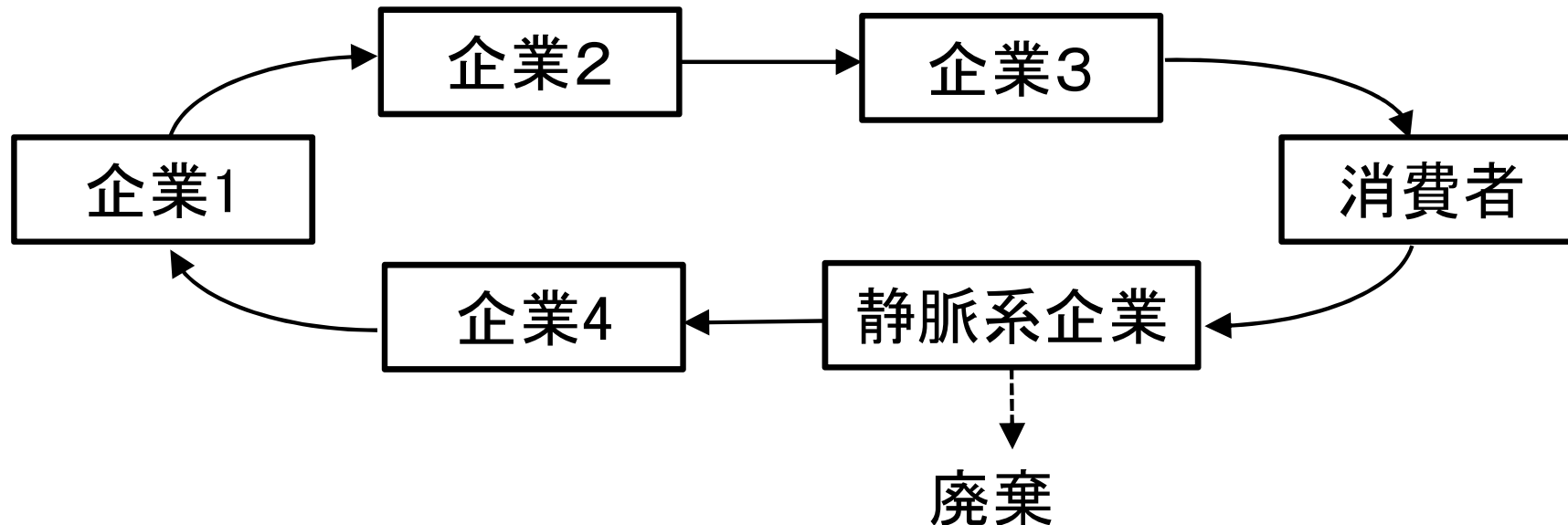
サーキュラーエコノミーとビジネスエコシステム

従来型エコノミー



サーキュラーエコノミー

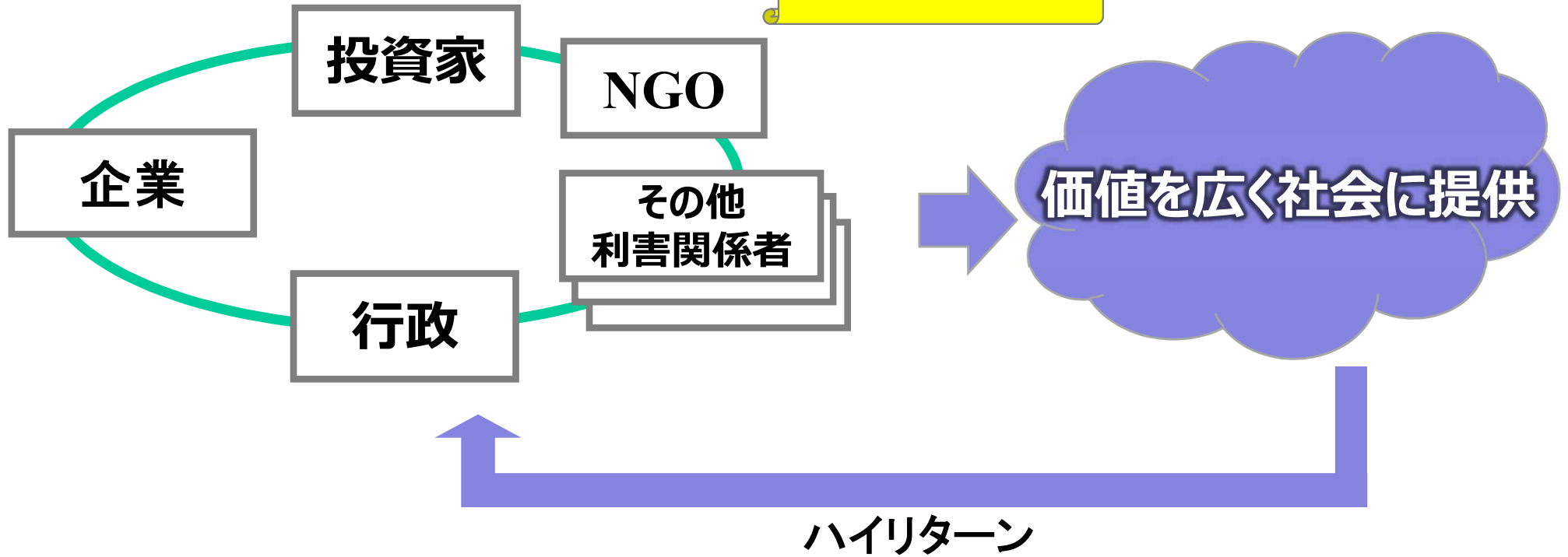
ビジネスエコシステム



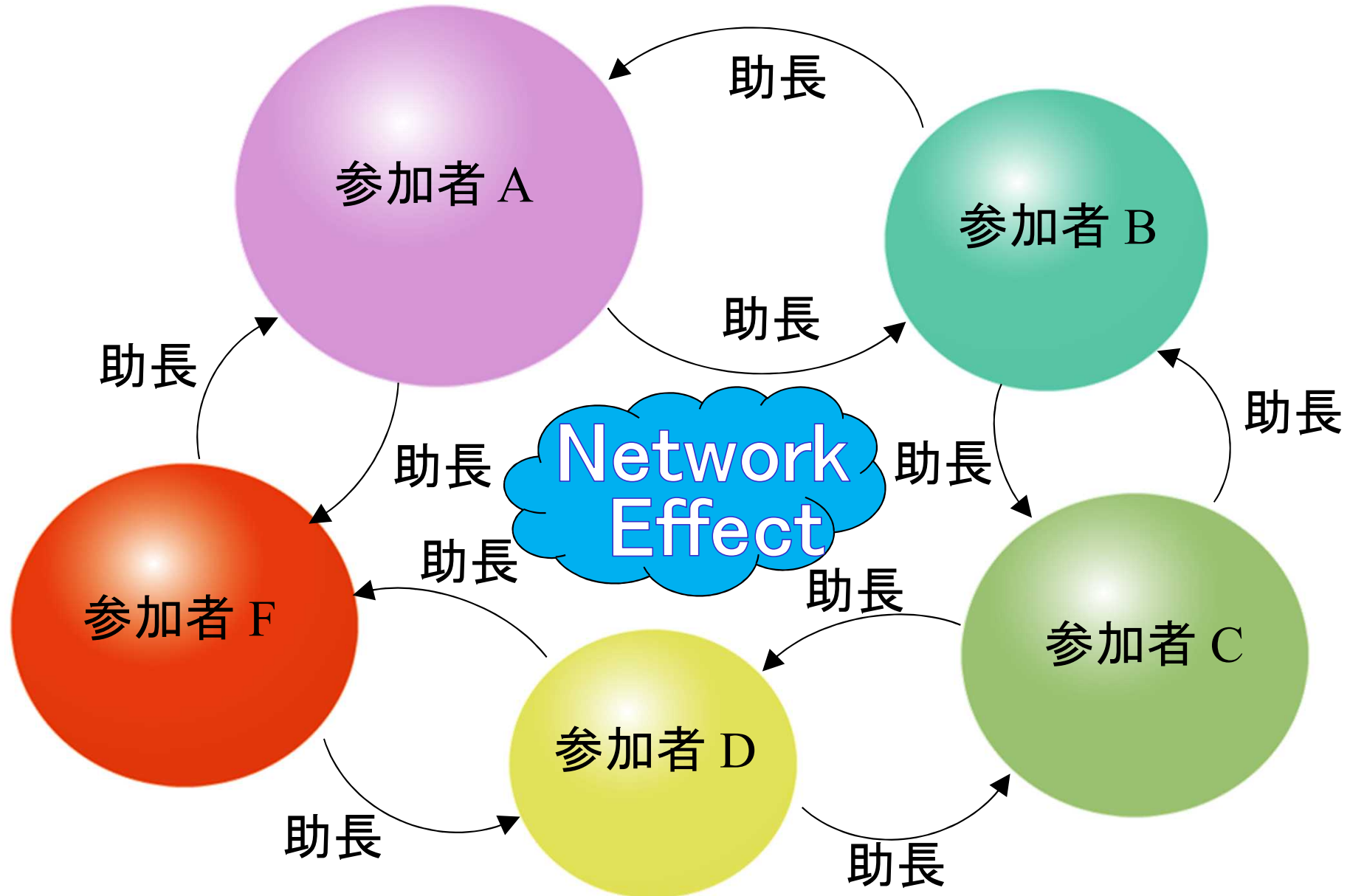
ビジネスモデルとしての側面

ビジネスエコシステム

社会ルール



ビジネスエコシステムにはネットワーク効果がある



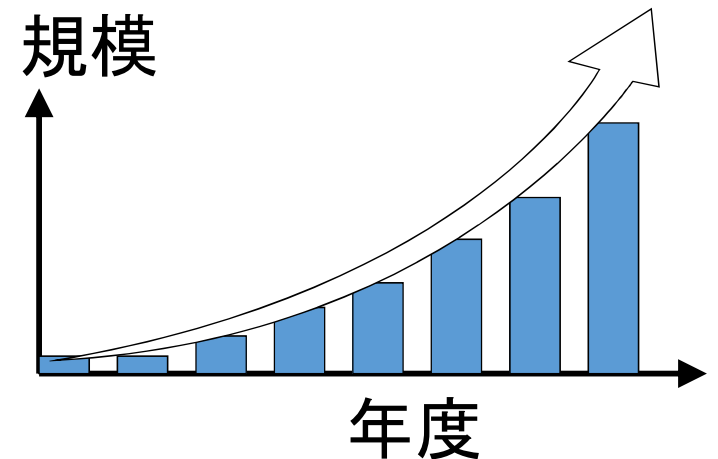
ネットワーク効果は指数関数的な成長を実現する

参加者Aの規模を m_A とする(他も同様)

$$\frac{d}{dt} \begin{bmatrix} m_A(t) \\ m_B(t) \\ \vdots \\ m_Z(t) \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} C \end{bmatrix} \begin{bmatrix} m_A(t) \\ m_B(t) \\ \vdots \\ m_Z(t) \end{bmatrix}$$

規模の増加 助長効果 他の参加者の規模

$$\begin{bmatrix} m_A(t) \\ m_B(t) \\ \vdots \\ m_Z(t) \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} m_A(0) \\ m_B(0) \\ \vdots \\ m_Z(0) \end{bmatrix} e^{[C]t}$$



ビジネスエコシステムとルール形成

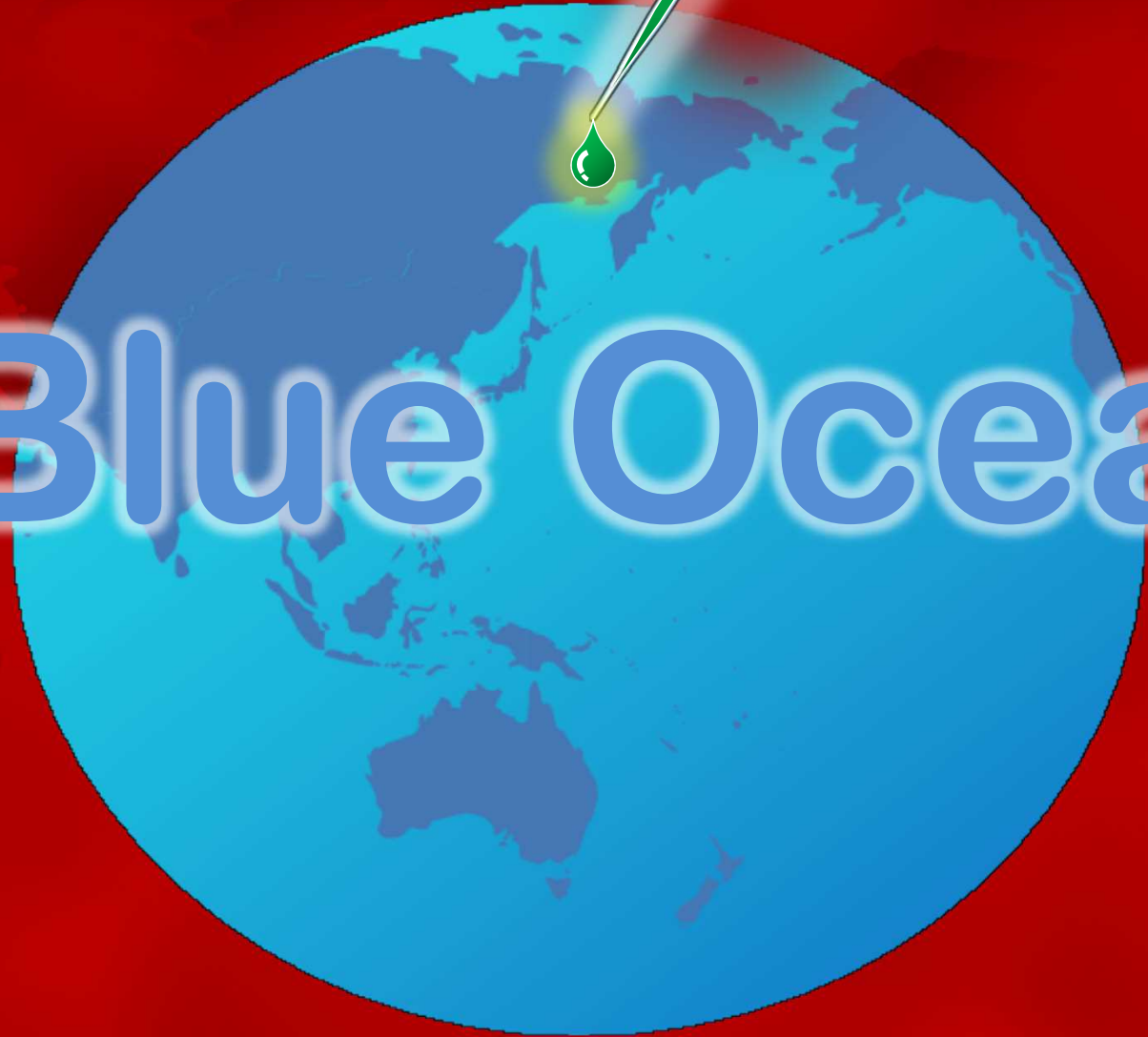
1. ビジネスエコシステムでは共通の利害を約束することが仲間を集める魅力になる。そのための合意事項が「ルール」である。
2. ルールにより、ネットワーク効果（相互助成効果）をビジネスエコシステムに組み込むことができる。
3. 既存の法規制／社会制度が存在していない領域に進出することで他社に対して規模の優位を確立できる（ブルーオーシャン）。その為の視点として、サーキュラーエコノミーに代表される新たな規制（緩和）／制度確立が効果的である。

Red Ocean



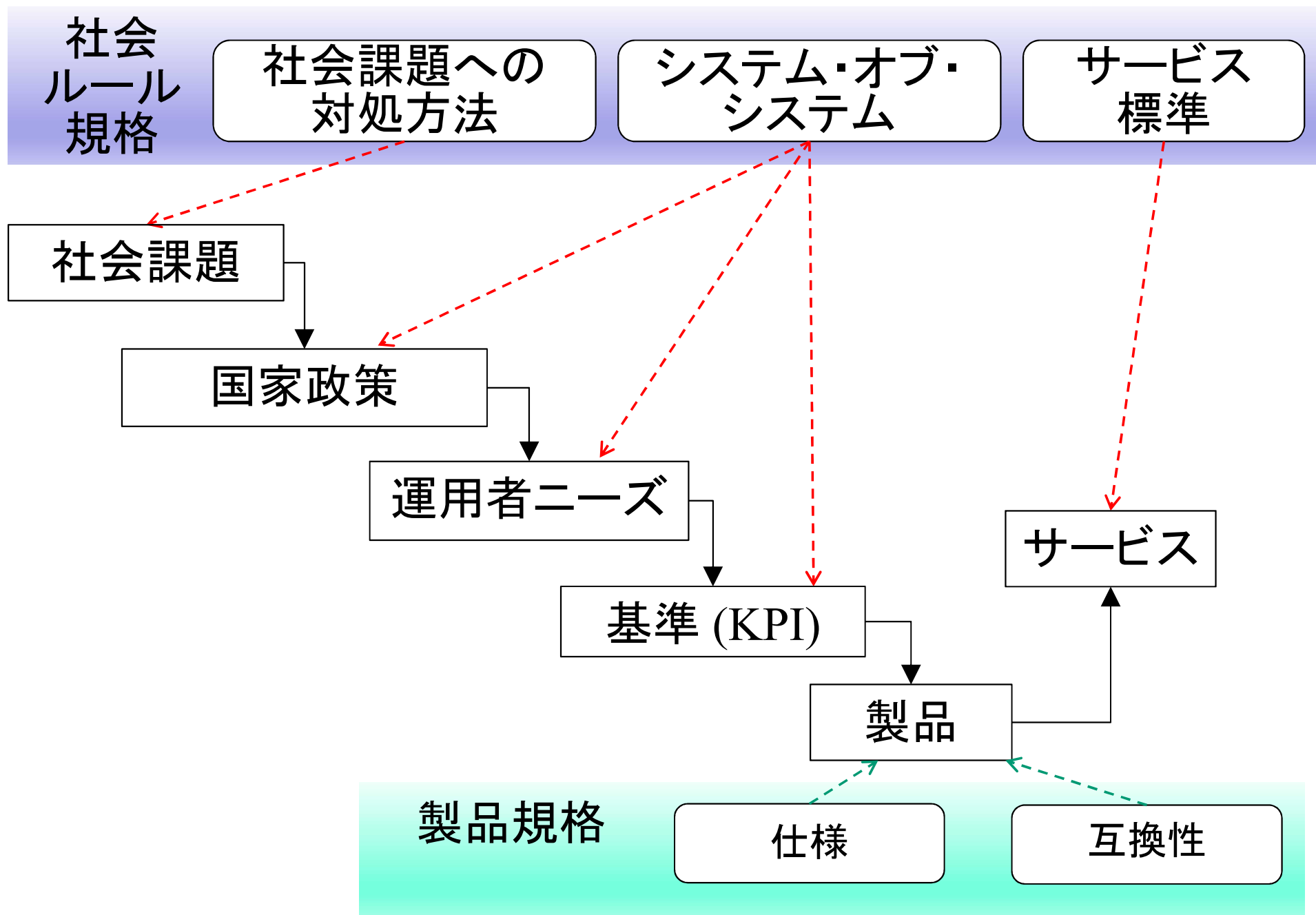
Red Ocean

Blue Ocean

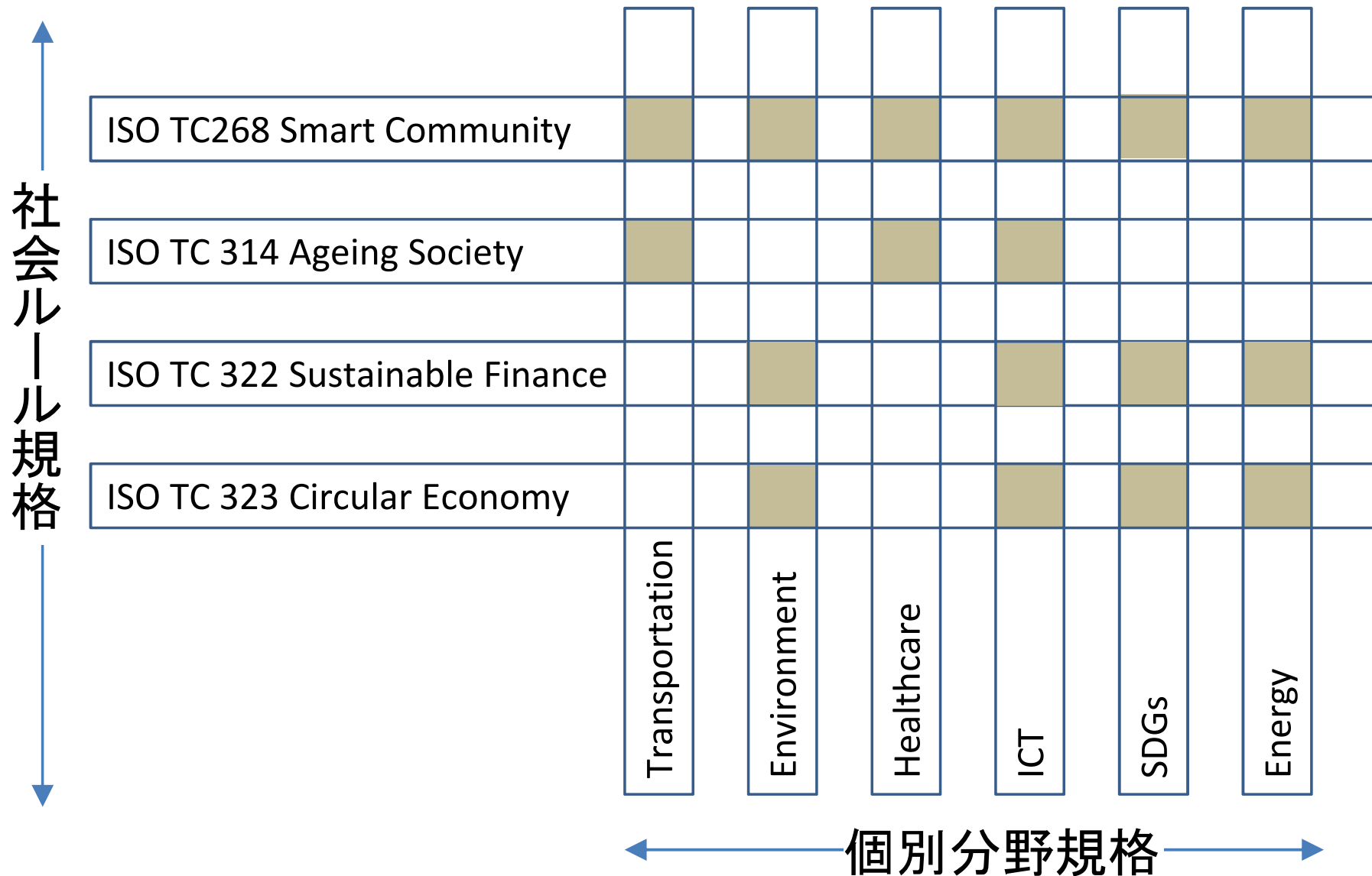


エコシステムのための標準化の領域

ビジネスの上流



個別分野規格と社会ルール規格の相補関係



事例：スマートシティにおける規格の役割

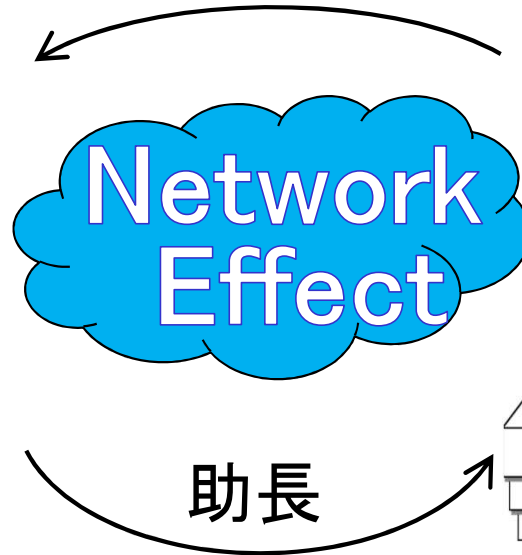
SDG11に関わるスマートシティではサーキュラーエコノミーは中核課題

都市



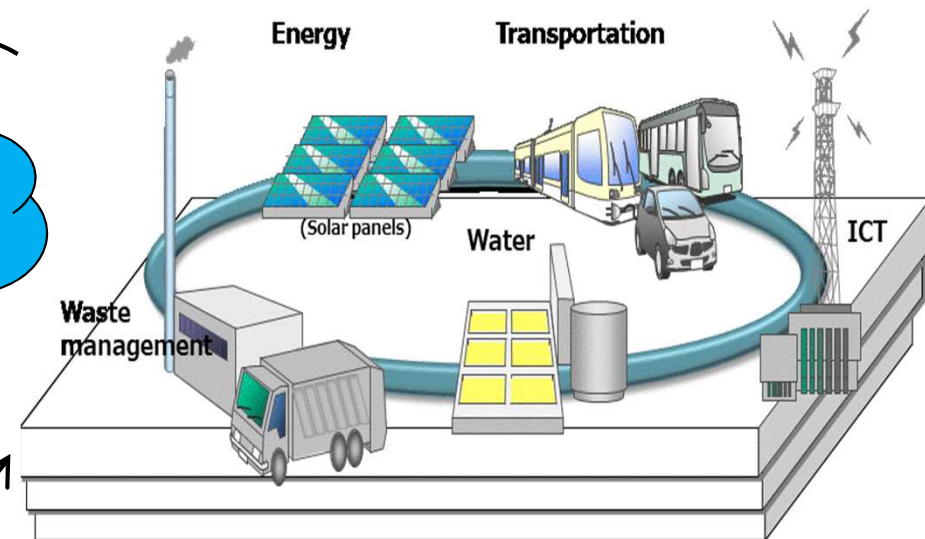
動機と競争

助長



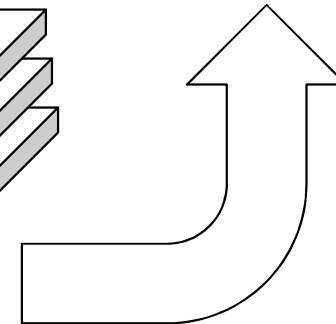
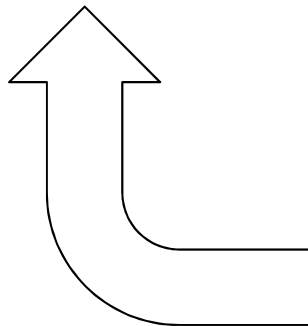
助長

プロバイダー



要件と認証

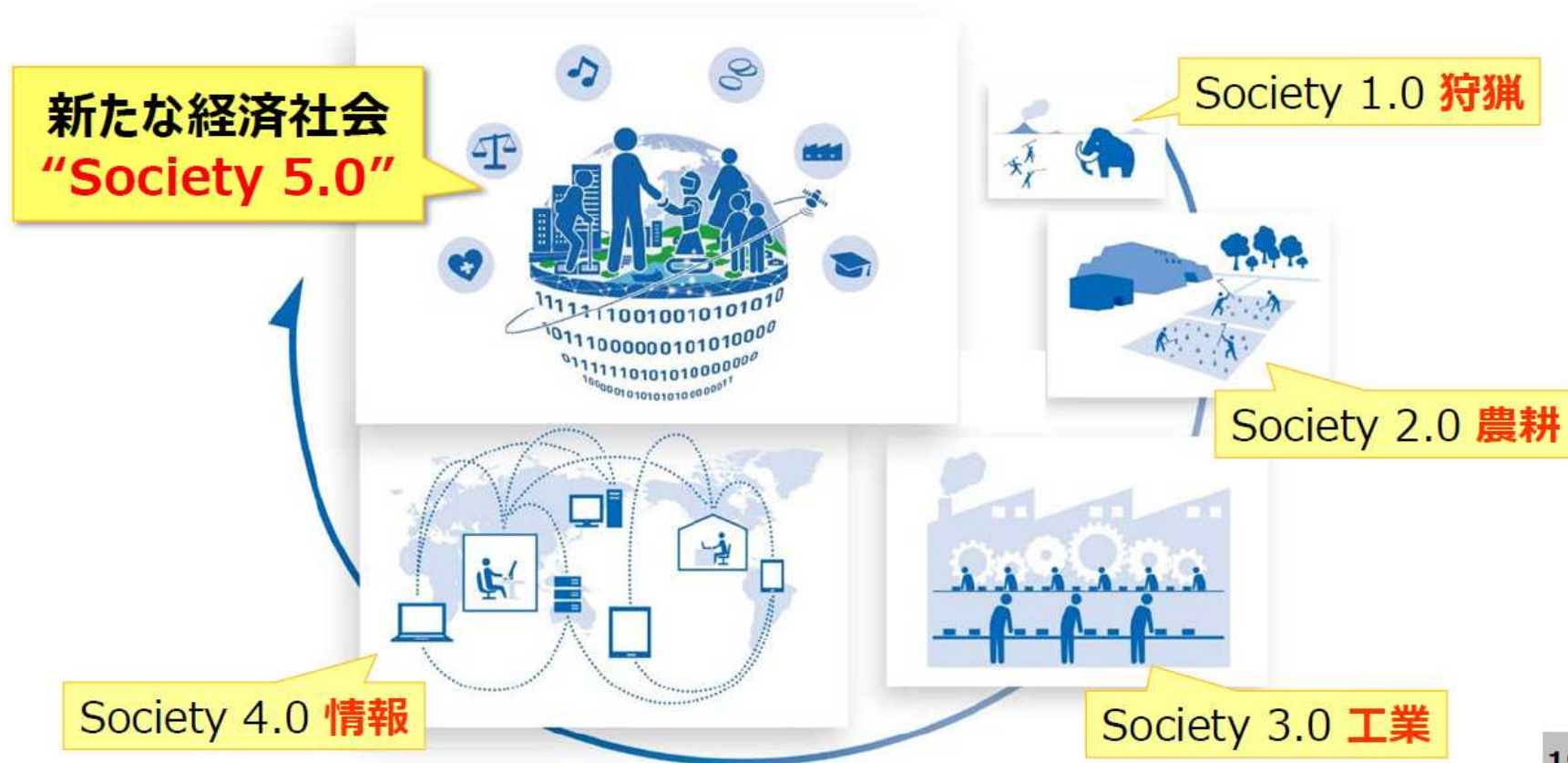
TC 268が発行
する規格



Society 5.0という切り口

Society 5.0とは

サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、
経済発展と社会的課題の解決を両立する、
人間中心の**社会（Society）**



出典: 内閣府

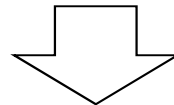
経団連の取り組み

Policy(提言・報告書) 科学技術、情報通信、知財政策

「Society 5.0実現ビジネス3原則」による新たな価値の創造

～「知的財産戦略ビジョン」策定に向けて～

抜粋



出典

2018年5月15日
一般社団法人 日本経済団体連合会

V. 【原則3】 「ルール」を創る

【企業の取り組みの方向】

- 革新技术を用いた製品・サービスで、グローバルに需要を創造し、市場を拡大するためには、自ら「ルール」を創るという発想が必要になる。Society 5.0の実現に向け、SDGsを国際競争力向上に向けた切り口と捉えて、国際的な規制や標準等の「ルール創り」に積極的に関与することが不可欠である。

SDGs とビジネス

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Achieving the SDGs could unlock

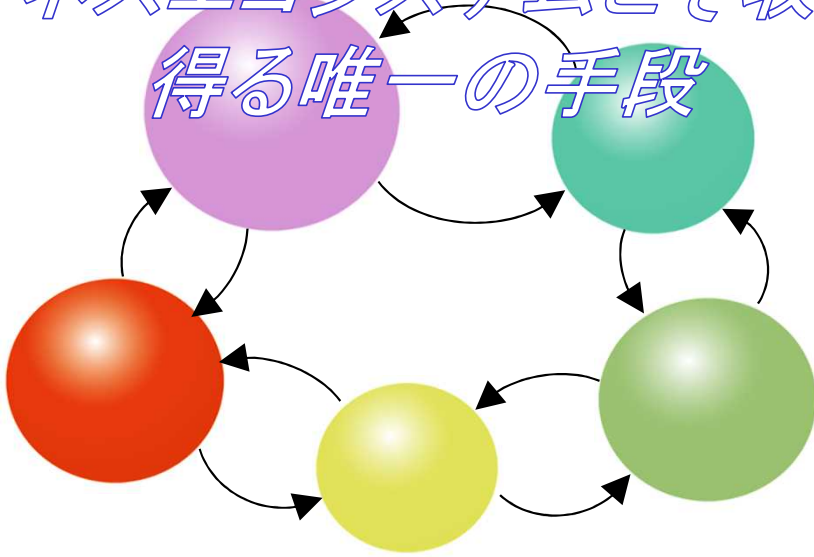
**\$12 trillion
a year**

in business value across
four economic systems
alone by 2030

Source: *Better Business, Better World*, Business & Sustainable Development Commission

1社ではどの一つも
解決できない

ビジネスエコシステムこそ収穫を
得る唯一の手段



ご静聴ありがとうございました

メール: yoshiaki.ichikawa.rb@hitachi.com

参考図書

